

令和7年度事業報告

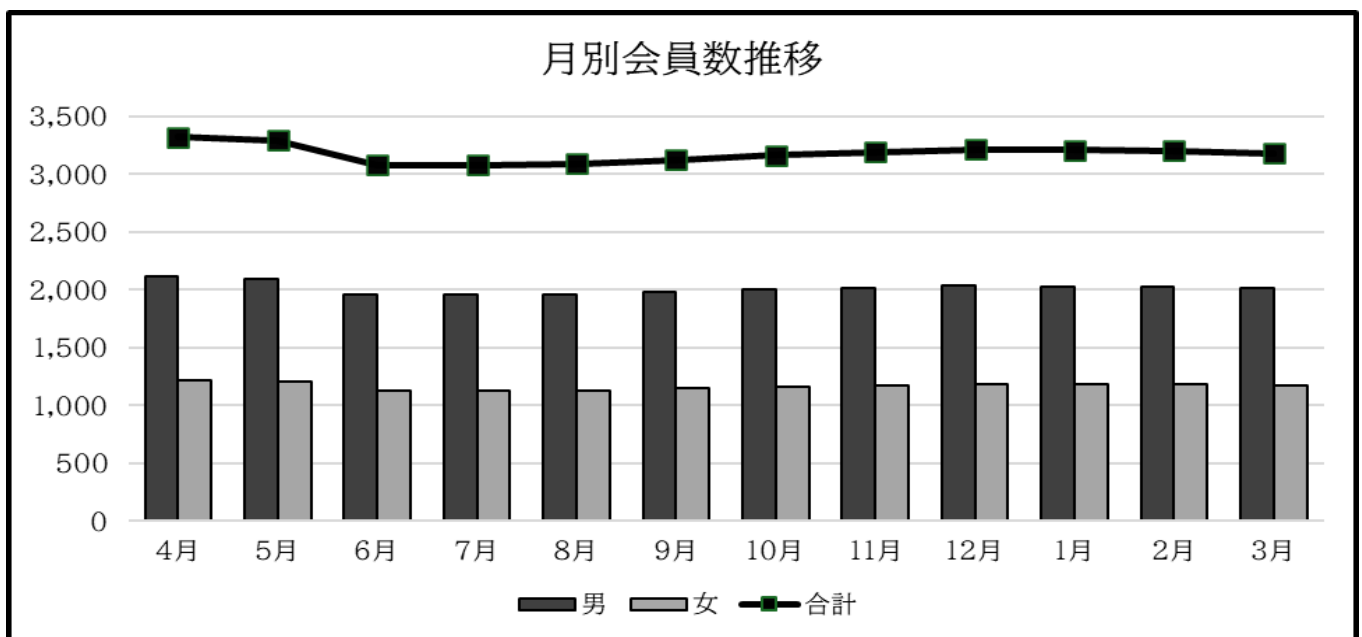
(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

I 会員の状況

令和7年度末の会員数は、あだち広報の広告欄に会員募集の掲載、また出張相談会や出張入会説明会を区内複数の会場で通年開催し、実施する会場や日数を増やしたが、入会者は昨年度を若干下回り、前年度より13人減の3,180人になりました。

(単位：人)

月別	入会			退会			退会理由					月末会員数		
	男	女	計	男	女	計	病気	就職	死亡	転居	他	男	女	計
4月	83	68	151	16	7	23	9	3	5	1	5	2,111	1,210	3,321
5月	30	22	52	54	28	82	18	7	3	2	52	2,087	1,204	3,291
6月	20	15	35	156	94	250	105	23	18	5	99	1,951	1,125	3,076
7月	13	4	17	11	6	17	7	0	1	3	6	1,953	1,123	3,076
8月	10	11	21	3	5	8	2	1	3	0	2	1,960	1,129	3,089
9月	32	25	57	15	8	23	8	2	2	3	8	1,977	1,146	3,123
10月	34	20	54	8	7	15	6	1	4	0	4	2,003	1,159	3,162
11月	28	20	48	16	7	23	6	2	3	4	8	2,015	1,172	3,187
12月	19	18	37	5	8	13	7	0	2	1	3	2,029	1,182	3,211
1月	12	9	21	16	9	25	7	4	4	2	8	2,025	1,182	3,207
2月	8	2	10	9	5	14	7	1	1	0	5	2,024	1,179	3,203
3月	0	0	0	13	10	23	8	3	1	1	10	2,011	1,169	3,180
合計	289	214	503	322	194	516	190	47	47	22	210	2,011	1,169	3,180



Ⅱ 事業実施状況

1. 普及啓発、情報収集及び提供等

区 分	内 容	回 数
センター広報紙の発行 (いちょうびあ)	会員及び関係各方面に配布。またセンターの活動や情報等の提供のためホームページにもあわせて掲載した。特に新年号では女性理事の就任特集や女性会員の仕事やシルバー人材センターの感想等の記事をカラーで掲載し、女性会員の拡大を図った。	12 回
公社ニュースの活用 (トキメキ)	会員の就業の様子やボランティア活動などを紹介するとともに出張相談の情報を掲載した。	12 回
あだち広報の活用	あだち広報の広告欄に見開きで、会員募集と受注依頼の広告を掲載した。	8 回
センター事業案内 チラシの配布	新規会員の募集や受注拡大等のために、新聞折込にて区内全域にパンフレットを配布。 (平均約 67,000 部/回)	4 回
イベントへの参加	区民まつりや光の祭典、エル・フェスタ、はなはた文教マルシェ等のイベントに参加し、会員の入会促進やセンター事業の周知を目的に P R 活動を行った。	4 回
ホームページの リニューアル	ホームページを刷新し、容量を増やし事業案内、就業開拓、入会促進、会員への情報掲載を充実させた。	随時

2. 調査研究

区 分	内 容	回 数
事業実績の分析	事業実施状況報告等の月次報告を実績数値に基づき就業状況を分析し、毎月の理事会や委員会で報告。	12 回
事業所等調査	今後の就業開拓につなげるために、区内発注者 100 社にシルバー人材センターの利用に関するアンケートを実施し、理事会等で報告。	1 回

3. 就業相談

区 分	内 容	実施期日	実施場所	相談件数
常設相談	入会・就業等に関する各種相談	毎日（土・日・祝日・年末年始を除く）	センター事務局 (西保木間複合施設)	551 件
出張相談	支所及び区施設等にて入会・就業等に関する各種相談	千住地区月 1 回 西部地区月 1 回 (その他 9 回)	千住支所、L ソフィア、 住区センター等	200 件

4. 就業機会の提供と開拓等

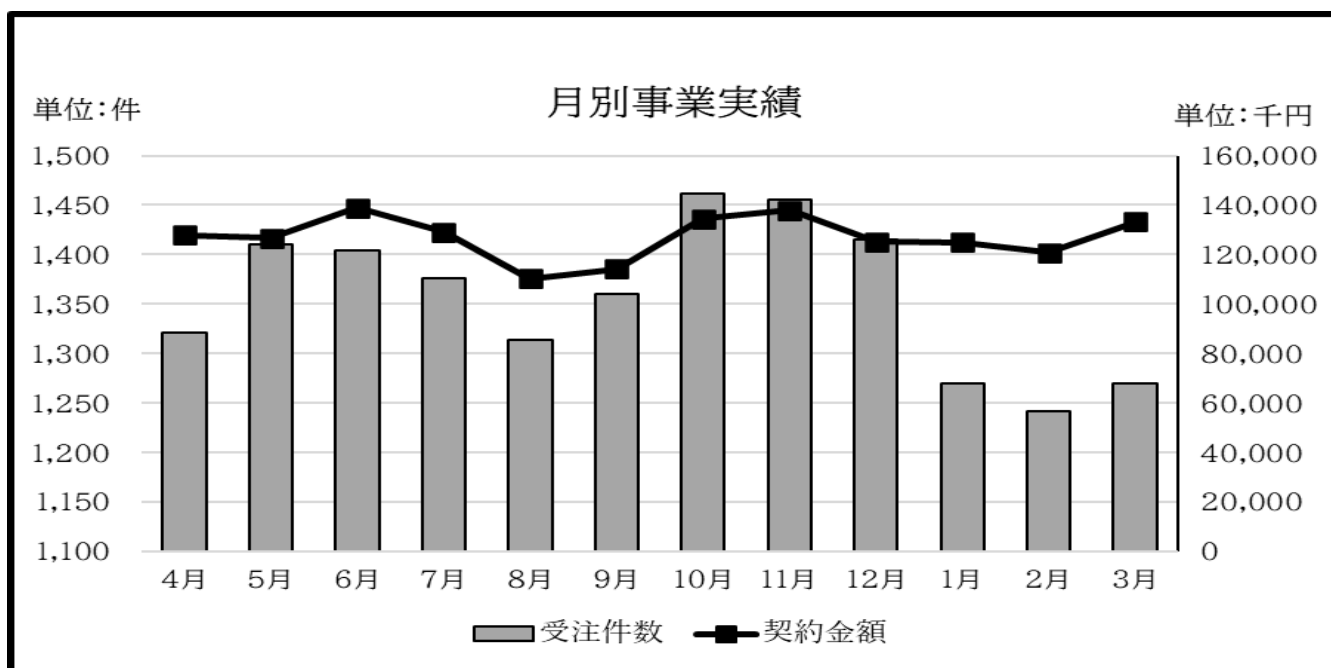
(1) 提 供

令和7年度の契約総額は15億2,305万円余で、最低賃金が2年連続で大きく引き上げられたことに連動し、契約単価が大幅に上昇したことで、前年度より約10,211万円増となりました。また、年度内に一度でも就業した会員実人数は、2,704名となり就業率も85.0%と前年より1.7ポイント上回りました。

ア. 月別事業実績

月別	受注 件数	就 業 人 員		契 約 金 額			
		延実人 員	延日人員	配分金	材料費	事務費	合計
	件	人	日人	円	円	円	円
4月	1,321	5,241	29,477	117,348,686	393,547	10,150,645	127,892,878
5月	1,410	4,880	28,912	116,189,595	642,211	9,829,110	126,660,916
6月	1,404	6,718	32,919	127,122,023	1,082,542	10,578,263	138,782,828
7月	1,376	6,052	31,388	118,486,636	869,757	9,722,807	129,079,200
8月	1,313	5,024	26,972	100,772,387	1,087,046	8,366,690	110,226,123
9月	1,360	4,854	28,246	104,606,203	793,179	8,669,723	114,069,105
10月	1,461	5,794	32,270	123,343,259	868,865	10,304,442	134,516,566
11月	1,455	5,590	30,644	126,316,913	1,101,277	10,444,655	137,862,845
12月	1,415	4,642	27,925	114,521,004	1,123,096	9,495,085	125,139,185
1月	1,270	5,912	32,539	114,807,929	881,928	9,128,545	124,818,402
2月	1,242	5,785	29,083	110,283,804	956,356	9,566,167	120,806,327
3月	1,269	5,160	30,306	117,319,935	1,307,340	14,572,844	133,200,119
合計	16,296	65,652	360,681	1,391,118,374	11,107,144	120,828,976	1,523,054,494

(参考) 7年度末会員数3,180人 年間就業実人員2,704人 会員年間就業率85.0%



イ. 職群別事業実績

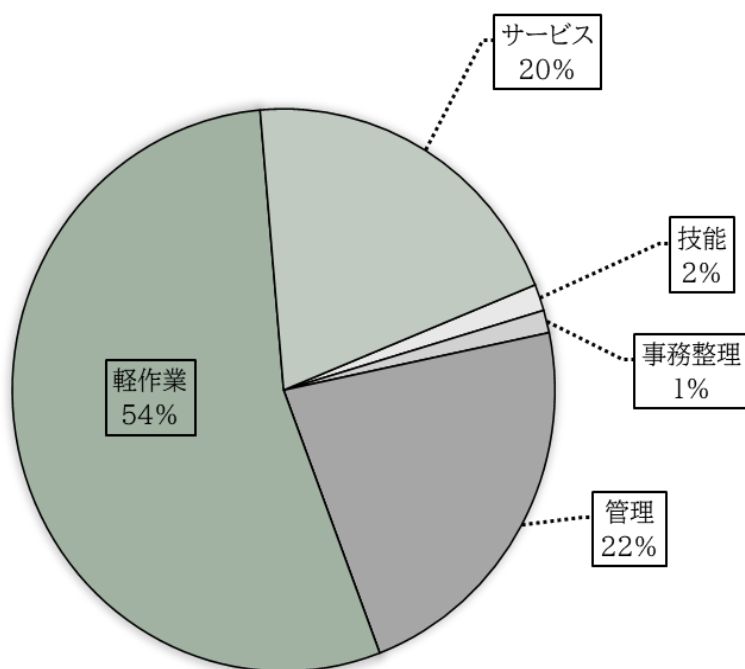
職 群	受注 件数	就 業 人 員		契 約 金 額			
		延実人員	延日人員	配 分 金	材料費	事務費	合 計
	件	人	日人	円	円	円	円
技術	0	0	0	0	0	0	0
技能	904	2,196	2,347	20,191,001	500,289	2,722,053	23,413,343
事務整理	48	427	1,923	14,840,150	0	4,907,660	19,747,810
管理	111	7,319	55,091	317,711,731	4,307	25,176,192	342,892,230
折衝外交	0	0	0	0	0	0	0
軽作業	1,441	21,934	179,123	758,567,660	9,515,198	60,146,687	828,229,545
サービス	762	33,776	122,197	279,807,832	1,087,350	27,876,384	308,771,566
合計	3,266	65,652	360,681	1,391,118,374	11,107,144	120,828,976	1,523,054,494

例【技能：植木、事務整理：一般事務、管理：学校管理、軽作業：清掃、サービス：家事援助・広報配布】

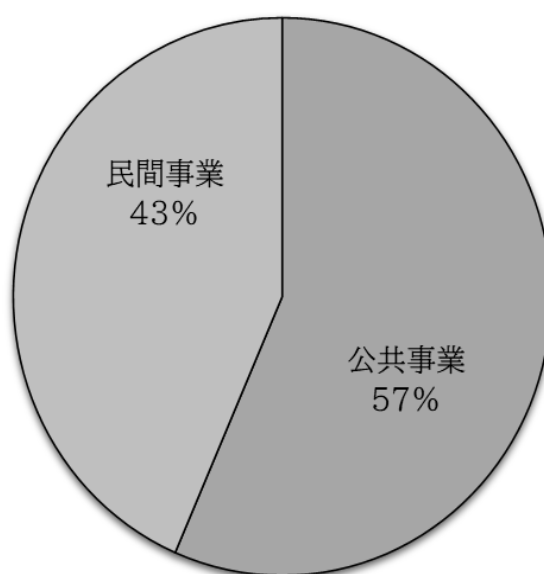
ウ. 公共・民間別事業実績比

区 分	受注件数	延実人員	延日人員	契 約 金 額
公共事業	1,645 件	34,013 人	176,178 人	860,777,722 円
民間事業	14,651 件	31,639 人	184,503 人	662,276,772 円
合 計	16,296 件	65,652 人	360,681 人	1,523,054,494 円
公共：民間	10：90	52：48	49：51	57：43

イ. 職群別事業実績



ウ. 公共・民間別事業実績比



(2) 開 拓 等

区 分	内 容	実施時期
就業開拓 会員増強	1 事業所等への訪問時にリーフレットを渡し就業開拓に努めた。 2 リーフレットを、区内住区センターに設置した。また、ハローワーク足立や足立区役所等関係各所に配布した。 3 足立区の「区民まつり」等のイベントに参加し、宣伝用エコバックやウェットティッシュの配布等を通じて、就業開拓を図った。 4 区内バスの一部に広告を掲載し、センター事業のPRを行った。 5 竹ノ塚駅・西新井駅・北千住駅構内等にPR用ポスターや案内板広告を掲示した。	4月～ 3月

5. 研修・講習会等

区 分		研修内容（実施時期・回数）	参加人員
独 自 研 修	就業前研修	就業前に必要な知識等の取得研修	新規就業者 675人
	理事・監事研修	新公益法人制度の改正に伴い、理事・監事がセンター運営に必要となる情報を収集。外部講師を招いて「新公益法人制度の改正ポイントについて」（2月）を実施。	11人
	各地区主催研修	【千住】フレイル予防講習、道路交通法等講習、 接遇研修（7・12・2・3月） 【東部】特殊詐欺等防犯対策講習（10月） 【西部】AED研修、接遇研修（5・8・10・2月） 【南部】熱中症予防講座、特殊詐欺等防犯対策講習、 フレイル予防講座、接遇研修（5・6・11・1月） 【北部】接遇研修（8・10・11月）	延 1,002 人
	職域別研修	家事援助に関する技術向上を目的とした研修を実施（10回）。また、マンション清掃を希望する会員向けに作業技術や熱中症予防等安全対策の研修を実施（1回）。	延 343人
	新会員研修	センターの理念や、組織等の修得及び接遇の研修を少人数制にして多頻度実施。	503人
東京しごと財団が主催する研修等		「自転車安全利用講習会」（11月）	1人
ブロック研修（足立・葛飾・江東・江戸川・墨田）		安全管理研究会（10月書面開催）・安全就業研修会（10・2月）・職員研修（1・2月）	19人

6. 事業促進のための組織活動

(1) センター諸会議

区 分	開催月日又は回数
定 時 総 会	令和7年6月25日
理 事 会	毎月1回（5・6月は2回開催） 計14回
適正就業推進委員会	2回
就業開拓委員会	4回
会員増強委員会	4回
五所会議（センターの五つの支所役員による会議）	2回

(2) 運営体制の充実を図るための取組

区 分	内 容
理事の選任	理事の選考は、恣意的な運営を避けるために、原則として理事候補者13名中10名を事務局が直接選ばずに、ガバナンスの確保に努めている。
外部理事・監事の選任	外部理事について、独立した立場で適切な助言を行える人物を選任した。また、外部監事について、経理的基礎を欠くことがないよう、税理士を選任した。
理事会の毎月開催	会長は、ガバナンスを十分に機能させるために、毎月、理事会を招集した。理事会では、重要事項の審議をするとともに、組織の活動状況等の報告を行った。

(3) 地域、職群班等の活動

区 分	活 動 内 容	開催月日等
支 所	5支所55区域で実施。支所役員会議・区域会議等を随時開催するとともに、センター広報紙（いちようぴあ）等の配布や就業案内、新規会員加入促進並びにボランティア活動等を行った。	地区全体会5回 区域会議等 308回
職 群 班	植木班 担当理事及びリーダーを中心に安全就業、新人教育、適正な見積り、単価設定について検討した。	班会議1回 研修会1回
	草取り班 担当理事及びリーダーを中心に事故防止、後継者育成及び作業班の拡充などの課題解決に向けた取り組みを検討した。草取り希望会員に説明会及び研修を実施した。	班会議1回 説明会1回 研修会1回

職 群 班	家事援助サ ービス班	地区リーダー会議、定例会議及び新人入門研修を毎月開催し、作業会員の増強、リーダーの養成、作業方法及び安全就業について検討した。各種作業内容ごとの研修会を実施し、会員のスキルアップを図った。また、会員交流会を実施し、会員の仲間意識の向上に努めた。	地区リーダー 会議・定例会・ 新人入門研修 毎月 1 回
	公共事業班	公園・河川敷管理、広報配布等に従事する会員全員を対象とした会議を行い、それぞれの事業における注意事項の確認や事例発表を行った。また広報配布についてはリーダー会議を開催し、苦情等情報共有と注意喚起を行った。また、新規拠点等の課題について支所と連携して検討した。	公園・河川敷 3 回 広報配布 4 回
ブロック連絡活動		第一地域連絡会議（足立・葛飾・江東・江戸川・墨田の 5 区で組織）の開催とシルバー人材センターの運営に関する情報の交換及び職員合同研修の実施。	連絡会 3 回 合同研修 5 回

7. 安全就業

区 分	内 容	開催月日等
安全管理委員会等	安全管理委員会及び安全支援員合同の安全管理拡大会議を開催。主に、年度内に発生した保険適用事故の状況を報告し保険対象事故について検討するとともに安全に関する講座・講習会を実施。	5 回
巡回安全指導	各地区の安全管理委員、安全支援員が中心となり屋外の作業現場を巡回し、近況の事故事例及び時候に合わせた注意喚起を行った。	241 回
安全意識の啓発	7 月の「就業安全強化月間」、2 月の「安全標語への応募」等、安全関連の記事を広報「いちようびあ」に掲載するとともに、傷害事故の二大原因である転倒・自転車事故に関する周知文書を全会員に配布した。	7 月・2 月
安全の心得	7 月の「就業安全強化月間」に合わせて安全の周知文と安全心得 10 カ条を全会員に配布した。また新会員には研修時に同資料を配布し説明した。	随時
自転車安全点検	自転車の整備不良による事故を防ぐため、自転車の基本的な知識を有する会員らが点検を実施した。	各地区で 毎月 1 回実施 (北部のみ 2 回)

安全管理講座	福寿会在宅統括部及び高齢者地域包括ケア推進課より講師を招き、①『手ぬぐい体操』、②『歯のフレイル予防』について講座を実施。安全就業に繋がる自己管理について学んだ。	3月5日(木) 56名参加
熱中症予防講座	地域包括支援センター六月より講師を招き、暑熱順化や「食生活チェックシート」を使用し多くの食材から栄養を摂ることの重要性、また日頃からの健康管理の徹底等の説明がなされた。	6月5日(木) 87名参加
熱中症予防対策	熱中症予防対策として冷感インナー及び冷感キャップの貸与を公共の公園等で作業している会員、また植木・草取り班等を対象として行った。	4月から9月 1,249名
全国シルバー人材センター事業協会安全就業指導員会議	全国シルバー人材センター事業協会から配信された安全就業指導員会議の安全就業についての事例発表と講演を視聴した。	1月

※シルバー保険の対象となった事故 () は令和6年度
 傷害事故 37件(32件) 内訳：就業中28件(25件)、就業途上等9件(7件)
 賠償事故 4件(6件)

8. 社会奉仕活動

センター事業の目的の一つであるボランティア活動の実施体制を見直し、より多くの会員が参加しやすくなるよう充実を図りました。

区 分	活 動 内 容	実施時期等
ボランティア活動	街路・歩道等の空き缶、ペットボトル等のゴミ拾い、公園・荒川河川敷や住区センター外回りの清掃、保育園や高齢者施設での音楽活動等 合計93件	4月～3月